

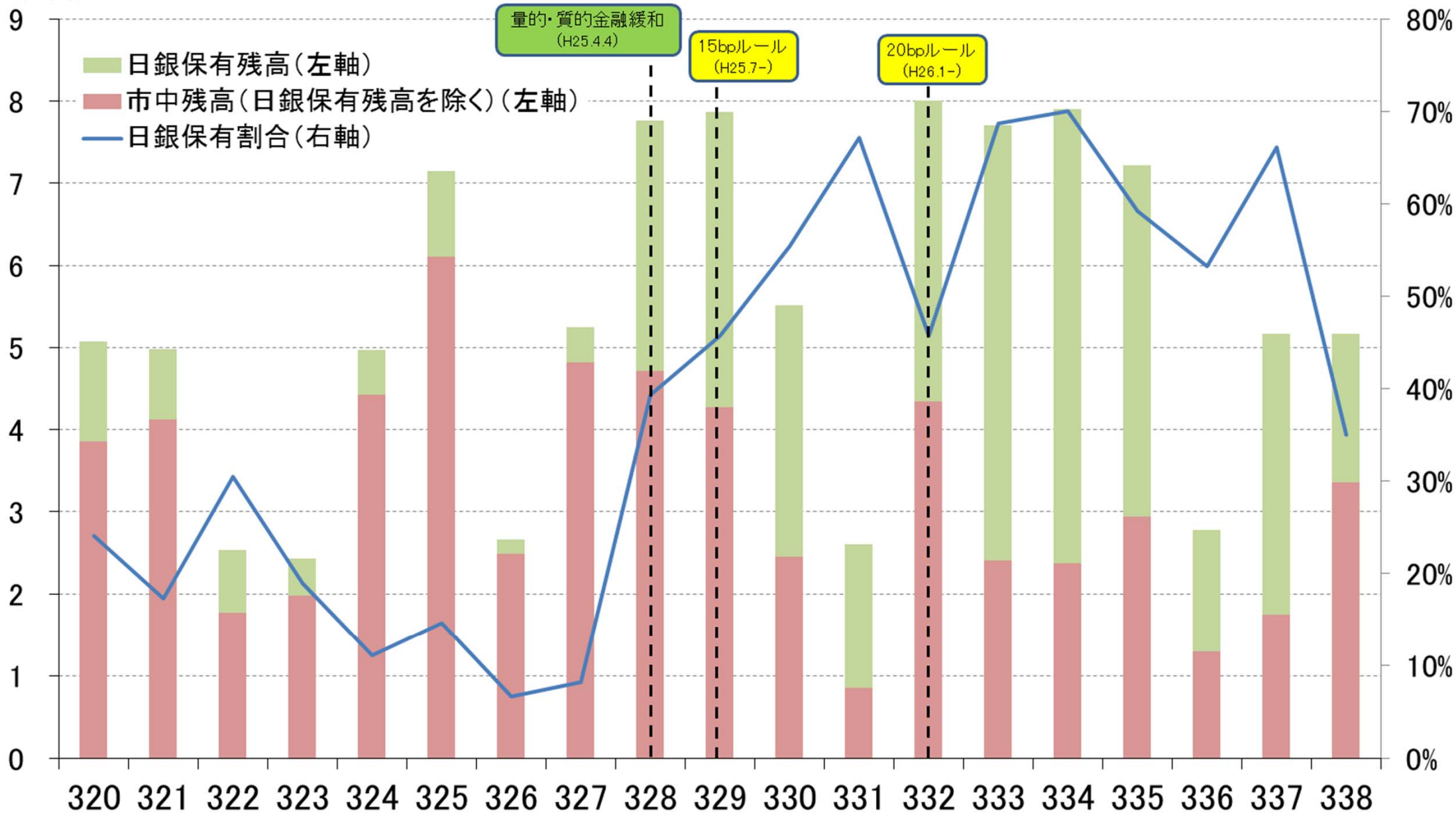
# 国債市場の流動性維持・向上のための取組み

## 27年度における国債市場の流動性維持・向上に係る施策

- 流動性供給入札の増額(月7,000億円⇒同8,000億円 計+1.2兆円)
  - 具体的な実施方法は、市場参加者との意見交換を踏まえ、市場の状況を見ながら決定。  
27年4-6月期:残存5年超15.5年以下 5,000億円、残存15.5年超39年未満 3,000億円
- 入札参加者の応札上限額の引下げ(発行予定額全額⇒1/2)  
プライマリー・ディーラー(PD)の応札義務率の引上げ(発行予定額の3%以上⇒4%以上)
- 10年債のリオープン範囲の拡大  
市場実勢利回りと表面利率との乖離が おおむね0.20%以内の場合はリオープン発行  
⇒金利が上下に大きく変動する場合を除き、リオープン発行(※)  
(※)市場実勢利回りと表面利率との乖離がおおむね0.30%を超える場合には新発債として発行

# 10年債の市中残高及び日銀保有割合(平成27年4月10日時点)

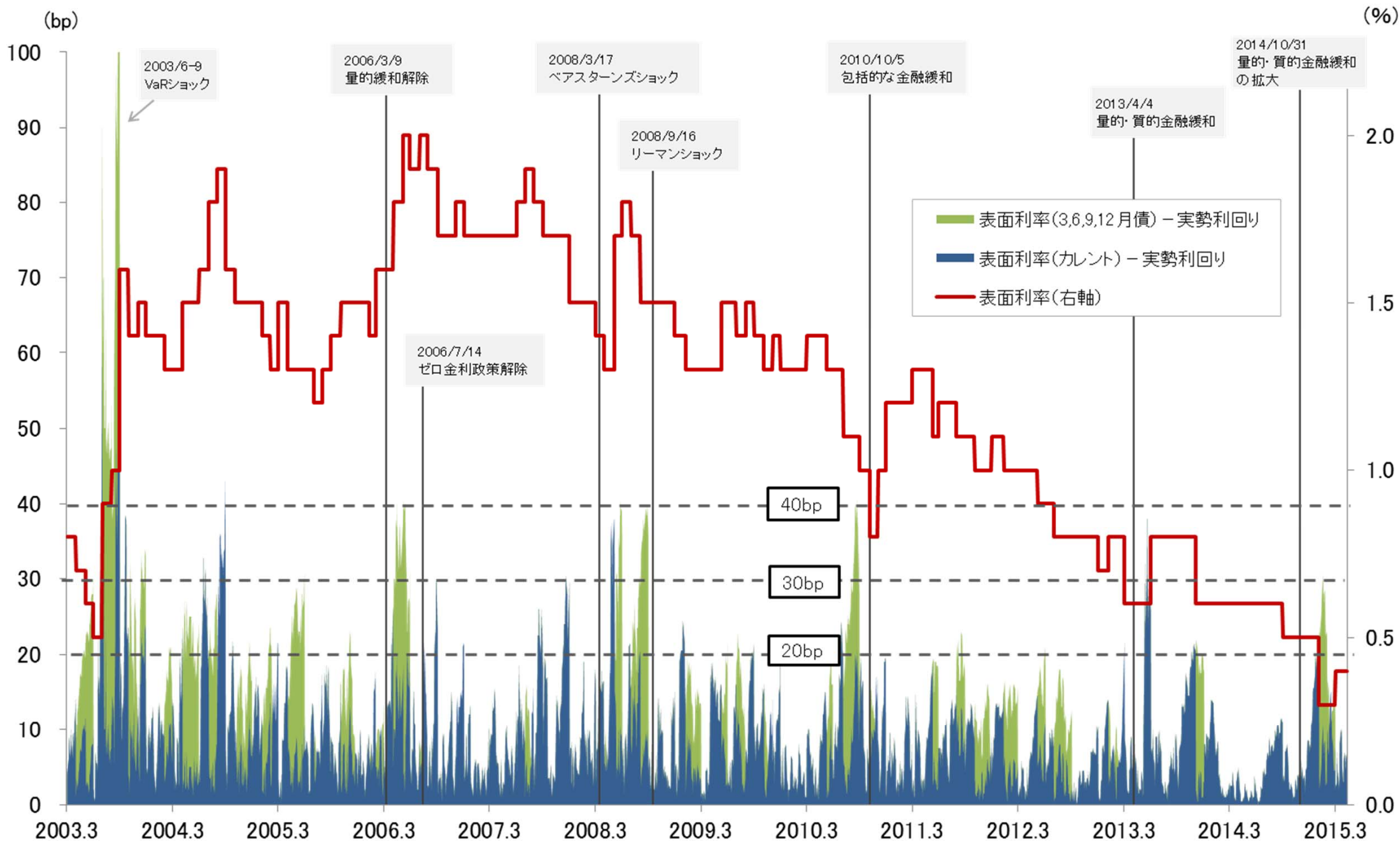
(兆円)



(出所) 日本銀行、財務省

(回号)

# 表面利率と実勢利回りとの乖離(10年債)



注: 実勢利回りとの乖離は日中の高値・安値も考慮した最大値

出所: 日本相互証券(単利ベース)